

幼稚園実習ガイダンス	
1	幼稚園実習の目的を確認しましょう！
2	実習を成功させるために、まず園を知ろう
	■ 2-1：幼稚園と保育園の違いは？
	■ 2-2：いろんなタイプの幼稚園があります。
	■ 2-3：幼稚園は実習生をどう見ているか
	■ 2-4：実習生が来ることのメリット
	■ 2-5：こんな実習生はノーサンキュー（滅多にいませんが）
3	質問に答えつつ、実際の幼稚園を見てみましょう
4	実習を成功させるための具体的なアクション《基礎編》
	■ 4-1：《基礎編》担当の先生と仲良くなれ！
	■ 4-2：《基礎編》「先生のためごモード」に最適化せよ！
	《健康、笑顔、服装、リアクション、一生懸命》
5	実習を成功させるための具体的なアクション《応用編》
	■ 5-1 《応用編》表情を豊かに！
	■ 5-2 《応用編》的確な観察と良い質問で積極性をアピールせよ！
	■ 5-3 《応用編》指導案の立て方
	■ 5-4 《応用編》就職を視野に入れる

1：幼稚園実習の目的を確認しましょう！

自分で目的を明確に持っていくのなら必要はないのですが、もし、不明瞭だったら以下の4つを考えてみて下さい。

①自分の適性を知り、経験値を上げること

子どもを見る目、子どもの特性を知る、保育者の仕事を知る
自分の適性を知る、自分の技量を知る…

②良い評価を得ること

どうやったら良い評価を得られるかポイントを押さえます。[4で解説]

③幼稚園を観察

幼稚園をいろんな角度から見てみる。「ここに就職したいか？」

④実習を楽しむこと

「楽しかったー！ で、何したっけ？」でもいいから
幼稚園の仕事の核心（子どもとの付き合い）を楽しんでほしいと思います。

2：実習を成功させるために、まず園を知ろう！

■2-1：幼稚園と保育園の違いは？

- 行政の制度による違いは勉強していると思いますが、いちばんわかりやすいのは、**乳児の存在と保育時間の長さ&休日**
※しかし「子ども子育て新制度」により今後違いは明確でなくなってくる可能性アリ

- 現場では「時間の流れ」の違いを感じるでしょう。それは保育時間の長さや送迎方法の違い（園バス等）からくるもの大きいと思います。
- そうなると、保育者の働き方、心持ちも違ってくる
〈こんなイメージ？：幼稚園=せかせか、きっちり、 保育園=のんびり、ゆるやか〉

- 保育園での乳児組は複数担任制度が多い。（先輩がいる）
- 幼稚園は一人担任が多い。（初任者から担任になるケースもある）

- 親の意識が違→子どもの育ちが違う場合が多い
幼稚園は教育内容に対する親の期待度が高い、しかし期待に応えられたら絶大な信頼感を持って協力してくれる。〈ハイプレッシャー・ハイリターン〉
保育園はとにかく預かってほしいという思いが高く、教育内容はその次となる。したがって感謝の気持ちは持っているが（保育時間が長いいため担任一人で保育するわけでもないの）担任への期待度も低い。〈ロープレッシャー・ローリターン〉

- ※新制度で「預ける権利を行使する」ような風潮になると、親の感謝する気持ちが薄れ、要求の声が強くなったり、園や保育者へのサービスについて不満の声も高くなる恐れがある。

■2-2：いろんなタイプの幼稚園があります。

どんなタイプの園で実習を行うのか、予め知っておくべき。

- 経営者（理事長、園長、あるいは主任）の意識によって園はベツモノになる。
- どの園も、それなりに一長一短あり、子どもの発達を考えたときに、よほど極端でなければ、どれがいい、どれが悪いという判断はできません。それだけ子どもっているんな状況に対応できる柔軟性を持っているってことでもあるのですが…。

私なりに分類してみました

《タイプA：お受験園型》

- 知育教育、先取り教育で新しい教育方法を取り入れている場合も多いが自由時間が少ない。課題を乗り越えた喜び、達成感、成成感は半端ではなく、子どもたちの「できること」がどんどん増えていく喜びを感じるだろう。
- 保育者の役割は伝え教えること。期限付きのプレッシャー。成功すれば「よくやり遂げた！」という感動を得ることができ、ある意味リターン（上司からの認めや保護者からの賛辞と信望）は大きい…ように見える。この園でエキスパートになるには子どもの気持ちをいちいち汲んでいては仕事が進まないし、自分も悩んでしまう。なので、方針を信じて何かを捨てなければならない。経営、サービス優先の園もこのタイプが多い。都市部に多い。世間受けがいいので保育料も高く、人気園であり、経営は安定していることが多い。
- ▷見分け方→自由あそびが少ない、遊具やおもちゃが少ない傾向、カリキュラムが詰め詰め、発表会に注ぐエネルギーが大きい、きっちりと躰が行き届いている=決めごとが多

い、子どもも保育者も個々の意見はあまり採用されない。皆が同じ方向を指向しているように見える。

- ▷野心家・ビジネスライクな性格、根性のある人、パフォーマンスが得意、教えることが好きな人は向いている。

《タイプB：自由保育型》

○読んで字のごとく自由な時間が生活の大半にあり、子どもが自分の意思で決定していくことが重要視され、子どもの自由度、保育の自由度は高く、子ども自身の発見・成長も多い。好きなことにのめり込んで遊ぶことが可能なため、秀でた能力を伸ばすメリットもある。障がい児を受け入れやすく、比率も高い。躰や規範意識低い場合が多いことと、小学校への接続がスムーズに行かないイメージがあるため保護者にはあまり受けない。

○一人一人の発達をとらえる保育者の力量、そして適切な環境を準備し、発達を促す関わりを個々に持つことが必須。その条件が整わないと「ほったらかし状態」に陥る危険性があり、「あそんでればいいんだよ」という理論に逃げ込みやすく、保育者の役割、指導とは何かを忘れてしまうと自由保育でなく放縦保育となる。毎日ある意味楽しく仕事ができるはずである。

- ▷見分け方→環境が雑然としているのですぐわかる。汚れにはわりと無頓着だったりする。小綺麗やオシャレという言葉とは無縁の場合が多い。

▷子どもと深く関わり合いたい人、“先生”より仲間がいい人、どろんこあそびの好きな人、技術に自信がない人向き。

《タイプC：過去継承型》

○タイプAほど顕著ではないし、ウリにもしていないが、「ウチの園のやり方」が確立していて、だいたいその通りにやっておけばダイジョウブ。ほとんどの園がこれに当てはまるが、年々保育者が入れ替わるので、しっかり保育目標や活動のねらいを継承していないと「昨年もやったから・・・」という意味が大きくなり、新人教員には何の意味があるかわからずやることが多い。

○言い換えれば、時代に合わせて子どもの発達という視点を見失いがちで、園全体が保守的になってしまう。→教員のモチベーションが低下し、保育本来のことよりもその他のこと、たとえば職員の間関係などの歪みが出てきやすい。

○何十年も同じことをやるので目新しさは皆無だが慣れてしまえば楽。慣れるには何かを捨てなければならない。)

- ▷見分け方→たいていの園は、宗教を持つ園も含めてこのタイプ。他のタイプともミックスされています。

▷素直に働きたい人、新しいことをやるより決まった仕事をこなすのが得意な人、人間関係さえうまくいけば楽しく働けるでしょう。

《タイプD：海外メソッド型》

○フレーベル（ドイツ）、レッジョエミリア（イタリア）、モンテッソーリ（イタリア）、シュタイナー（ドイツ）、ピラミッド（オランダ）など秀でた思想を取り入れた幼稚園。純粋にそのメソッドにより保育を行っている園は数多くないが、たいてい園の方針として入園パンフレットやHPに謳っている。形だけ真似たモノや、頑なにそれを守ろうとするあまり地域の園児の生活に合わないことになっている園もまれにある。職員は、まずメソッドの学習から入る。

- ▷見分け方→すぐわかる。象徴（像や写真など）が飾られている。独自の教具がある。園長や経営者が思想を学んで傾倒している場合が多い。

▷その理論が本当に好きな人にはオススメ。小綺麗でオシャレな園が多い。

《タイプE：国内メソッド型》

- タイプAに含まれることが多いが、タイプC：海外メソッドが概ね子どものあそびや生活、個々の発達を重視しているのに対して、国内のメソッドは脳の発達やいかに効率的に頭や身体に詰め込むかというメソッドが多いのが特徴。△△式、△△先生の教育法など、教育学者や素人が発案したメソッドを取り入れた園。その方式に乗っていきける一部の園児を除いて取り残された園児が被害を被っている。
- 中には、はだか教育など、ホントにいいのかわからないがトップの持論が大きく影響し、保育者はハマってしまえば信望者となり得る。
- ▷見分け方→子どもが異常に元気よく挨拶する。保育目標やねらいが学校で習ったことと違ったりする。躰を重視。経営者が自園のすばらしさを熱っぽく語る。理事長先生や園長先生は雲の上の人のような扱い。一派の研修会に行かされる。
- ▷ガンガンやるのが好きな人、その考えに共感した人向き。

《タイプF：バランス型》

- 自由あそびも一斉保育もほどほどに、いろいろな教育方法やアイデアを試し、自園の保育のバランスを考え、常に試行錯誤しているので考えたり、迷ったりすることも多い。特段に「売り」はないが、今置かれている経営、運営状態の中で子どもの発達を第一に考えている。
- ▷見分け方→園内の雰囲気楽しい。保育者や子どもが楽しそうにしている。保育室に担任の工夫が見られる。
- ▷自分で考えられる人、工夫することが好きな人向き。

バリエーションがいっぱいあるのが園。これは幼稚園も保育園も同じ。
どの園も、子どもの幸せや発達を願って仕事をしているのだけど、園の方針によって、園のカラーは違ってきます。カラーが違えば保育の方針もやり方も違ってしまう。それだけいろんな考え方が反映されているのが保育現場である。

なぜそんなにバリエーションがあるの？

それは、私立幼稚園は戦後の混乱期に、巷に溢れて行くところがない子どもたちをなんとかしなければ、と思った地主さんや教職者たちが、個人や宗教法人（お寺や教会）の土地を提供して園を開園した歴史があるから。

学校法人は「園を勝手に閉めたりせずにキチンと運営する」という約束の下、土地を寄付し、そのかわり経営破綻しないように行政から補助金（私学助成）を受け取って運営するシステムになっていて、現在のほとんどの私立幼稚園は学校法人なのです。

どの幼稚園の園長も「自分の園がいちばんだ！」「いちばんいい保育をしている！」と思っているはず。オーナーだから、ある意味わがまま。園長のタイプにもいろいろあって、熱血タイプ、経営タイプ、主任お任せタイプといろいろ。これは幼稚園に限らずですが…

■2-3：幼稚園は実習生をどう見ているか

園長「いい実習生来ないかなあ〜」

職員「ちょっと面倒だけど、ちょっと嬉しい…」

園長たちは最近、採用のことを先に考えてしまう。

いい実習生来ないかなあ〜

= 「ちょっとウチの園に就職しない？」って声かけたくなるような実習生。

「いい実習生って？」どんな実習生が好かれるか考えてみましょう

まず、現場の保育者たちは、どう見ているのでしょうか？

『ちょっと負担だけど、ちょっと嬉しい』と思ってます。

- △「日誌が面倒だなあ」
- △「保育のスケジュールを調整しなくちゃ」
- △「保育を乱されないかしら」
- △「一日実習は園長も見に来るから、憂鬱・・・」
- △「実習生が入ると、主任の先生にクラスの様子がわかっちゃう」
- △「私も先生として、後進を指導できるようになったんだ、嬉しい+緊張」
- 「でも、教えることって基本的に好きだから」
- ◎「子どもたちといっぱい遊んでくれたら嬉しいな」
- 「自分の保育を見直すいい機会になるね」
- 「何か刺激がほしいなあ」
- 「素直でカワイイ子がいいな」
- 「男だったら、男らしくガンガン遊んでほしい！」

■めったにありませんが、

実習生への当たり（指導？）がキツイ園は、担任への当たりも強い場合が多い。
そんな園は、どういう仕組みでこんなにギスギスしているのかよく観察して
就活の情報にするつもりで耐えつつ実習しましょう。
コツは、自分を責めたり同化しようとしなくていいことです。
あなたが悪いわけではなくて、園全体が悪化している場合があります。

■2-4：実習生が来ることのメリット

- 子どもたちが喜ぶ「遊んでくれる人が来た～！」→期待に応えよう
- 働き手が増える→お掃除や保育時間に余裕ができて嬉しい
- 刺激を得る・活気が出て子どもたちが喜ぶ
- 新しい保育技術の情報が得られる→最近大学ではこんなこと教わってるんだ
- 採用の人材候補が得られる ※メリットデメリット有り→時間があれば就活の話
- クラスの子どもの新たな一面を発見
- 教員の指導力アップ（指導方法等を客観的に見直す）

保守的な園でなければ概ね実習生は歓迎です！

将来、共に働く皆さんですから、しっかり教えてあげなければ、と考えるのは当然です。

ただし、行事目前でカリキュラムが詰まっている時期、

「しっかり指導しなくちゃ」という責任感の強い園は負担に感じているかもしれません。

■2-5：こんな実習生はノーサンキュー（滅多にいませんが）

レッドカード

- ▲実習態度がひどい
(頻繁に遅刻、サボる、怠惰、服装が過激、化粧が濃い、不潔、常識なし・・・)
- ▲暴力的、危険、精神的に不安定

イエローカード

- ▲まるでナマケモノ（座り込んでいる、走らない、ずっと同じ場所に居る・・・)
- ▲まるでトモダチ（先生に対して、タメ口、え～だってえ、先生さあ、やだあ・・・)
- ▲まるでヤンキー（子どもに対して、この子うける～、だっさー、あんたさあ・・・)
- ▲問い合わせの電話対応（周囲が騒がしい、受け答えが暗い、はっきり喋れない・・・)
- ▲園内を勝手に写真撮影（FacebookやTwitterなどSNSに載せるのは言語道断・・・)

- ▲親がしゃしゃり出てくる
- ▲彼氏が門までお迎え
- ▲場が読めない（保育の邪魔をしているのに気づかない…）
- ▲覇気どころか、やる気無し
- △極端に消極的・人見知り
- △忘れ物、提出物の遅れ多し
- △病弱・極端に神経質
- △技術が低すぎる

養成校に「しっかりやってくれよ」とクレームが行く！

3：Q&Aで実際の幼稚園を見てみましょう（実際に教員に聞いてみました）

Q1.何時ぐらいに出勤しますか？

A：朝のMTGに間に合うように、午前7時半くらいです。※園によって違います

Q2.保育以外にどんな業務がありますか？

A：掃除、送迎、保育事務といわれる出欠把握や子どもの状態把握、
保護者からの連絡事項把握伝達、お便り書きなど多岐にわたります。

Q3.幼稚園教諭になって良かったと思うことは？

A：「人とふれあい、音楽やたくさんのイベント。何より子どもたちの成長が楽しい。
こんなに達成感のある仕事は他にないんじゃないですかね」経験4年目教員

Q4.先生として心がけていることはなんですか？

A：いろいろありますが、一つあげると友達以上、お母さん未満の存在になること。

Q5.男性教諭の必要性について？

A：必要です、しかも男らしい男性教諭が！

Q6.幼稚園教諭に向いている人ってどんなタイプですか？

A：人を喜ばせるのが好きな人、パフォーマンス力のある人。

Q7.教員同士でどう連携していますか？

A：朝と保育後にMTGを行って、情報をきちんと共有し、チームとして機能します。

Q8.毎日ピアノは弾きますか？

A：ピアノというより、毎日歌は欠かせません。演奏技術は必要です。
教員の世界はある意味実力主義です。

Q9.保護者とのつきあい方、クレームは？

A：園全体で対応すること、担任が対応することを明確にして、担任が何でも一人で抱え込まないようにします。とにかく、園の方針や対応の仕方、子どもの状況を把握して事実を伝えていくとクレームはめったに起こりません。

4：実習を成功させるための具体的なアクション《基礎編》

■4-1：担当の先生と仲良くなれ！

実習は短期決戦！じっくり私の人柄をわかって下さい、なんてのは望み薄。
自分からどんどんアピールして存在感のある実習生になろう！
目指すは「可愛がられる実習生！」

◎大切なのは、担当者との信頼関係を築くこと。

一生懸命学ぼうという姿勢を見せることで、担当者もきめ細かく指導してくれます。
とくに、責任実習が控えている場合は担当者が親身になってくれることで、
アドバイスも増え、実習の楽しさや充実度もぐんと増します。

○担任と信頼関係ができると・・・

先生が子どもの性格や見る視点をこまめに教えてくれることが多いので、
子どもとの関わりも充実してきます。

- ・関わりが充実してくれば、子どもを観察するシーンも発見も多くなります。
- ・予定がなくても「やってみない？」と部分実習を任せてくれたりします。
- ・望みがありそうな実習生にはどんどんやらせたくくなります。
- ・「今回の実習生いいよ！」と他の教員に伝えられることで、園での居心地もよくなります。

↓

○結果的に経験値が上がるのです！

☆ぜひ可愛がられる実習生を目指して下さい。

担当の先生とちょこっとプライベートの話も弾むようになればいい関係です。

■4-2：「先生のためごモード」に最適化せよ！

私たち職員は、門を入ったら仕事モードに切り替えます。素の自分では仕事はできません。
切り替えるとは、ある意味演技をすること。（そのうち慣れて演技ではなくなります）
皆さんは、職員に対しては学生、子どもに対しては、先生のためごモードに最適化してください。

◆先生のためごモード基本5《健康、笑顔、服装、リアクション、一生懸命》

○健康、笑顔はいうまでもありません基本の基本です。

※営業スマイルのことを嫌う人がいますが、営業スマイルは大事です。

営業スマイルがお客さん、私たちの仕事では子どもや保護者、同僚に安心感を与え、相手が喜んでくれます。相手が喜ぶと自分も嬉しくなって、営業スマイルではなく自然と笑顔がでるようになります。だから最初はこちらから笑顔を作る。

○服装は、その人の雰囲気を出すツールです。

園の雰囲気に合わせてオリエンテーションや初日にどんな服装が最適か聞いておき、清潔で明るく快活なイメージを出す。間違っても趣味のヴィジュアル系やコスプレ系の衣装などで出勤しないで下さい。

○リアクション／子どもの話を聞くときには？ 職員に対しては？

子どもの話を聞くときにはオーバーアクション気味に、

職員に呼ばれたらすぐ返事、

指示には素直にしっかり返事+おじぎはしっかりキレイ良く行うことです。

大人でも子どもでも相手が話しているときは、

顔きながら時折あいづちを加えながら聞く。

挨拶も相手より先に言えるよう心がけます。

○一生懸命が実習生の命！一生懸命をどう表現するか。

出し惜しみせず一生懸命身体を張って遊ぶ姿は見ていて気持ちの良いものです。とくに、年配の保育者にとっては羨ましい限りでしょう。自由時間にダイナミックにあそぶ実習生はそれだけでポイントが高いものです。とくに男子学生はここで点数を稼がなくてはなりません。※暑い時期は必ず着替えを持参しましょう。（汗臭いままだと避けられます）

○一生懸命を「気遣い」で見せる。

担任の先生は実習生を引き受けたことで仕事量が増え負担に感じます。それを多少なりともカバーしようという気遣いが感じられることが大切です。たとえば部屋の掃除を率先して行うのは当たり前、棚の埃をなにげに掃除しておいたり、テーブルをきちんと並べておいたり。一手間やっておくとポイント高い。※もちろん、出勤はいちばん早い先生に合わせるとgood！

Q：先生モードと先生のためごモードの違いは、何かわかりますか？

A：「指導」が含まれていないこと。
実習は吸収がメイン、指導しなければ、と思わない方が良いということです。教員でも、子どもとの信頼関係を築いてから本当の指導（内発的動機付けを促せる）ができるので、そう考えると実習生の行う指導は「促し」程度のアプローチがベストだと考えます。早くから「先生」になる必要はありません。

5：実習を成功させるための具体的なアクション《応用編》

■5-1：表情を豊かに！

- 緊張のせいでしょうか、表情が豊かな実習生にはなかなかお目にかかりません。
- 「大人しく無難にこなすこと」が良いことはありません。
- 表情は、顔は目と眉と口でつくる。身振り手振りも表情のうち。
- 部分実習で絵本を読むとき、手遊びや歌を歌うときも、表情が大きな役割をします。
- 子どもたちの前に立つ日は、鏡を見て目の開き具合や、口の動き、眉の動きを練習しましょう。

■5-2：的確な観察と、良い質問で積極性をアピールせよ！

- ◇子どもの素の姿が出やすい時間は、自由に遊んでいるときです。そのときが、子どもを観察する絶好の時間帯です。（漫然と遊んでいては他の実習生と差がつかず）観察は、主観を入れずに事実を「何をしている時間に、誰が、誰と、どうした」を把握、メモしておき、気になったら質問をします。
 - ◇配属されたクラスは、担任の先生の意図が随所に配置されています。一つ一つのものにどんな意味があるのか興味を持って観察しましょう。園舎全体の環境設定にも興味を広げられたら質問の幅が増えます。
- 例：「この写真かわいいですね～、これは〇〇の意味で貼ってあるのですか？」

- ◇カリキュラムや予定表、お便りには興味を持って読み、質問ネタを拾いましょう。
- 実習期間中に予定されている行事のねらいや内容について聞く。
- 歌っている曲の楽譜をもらって練習する。人気の絵本or月刊絵本を聞く。

○保育後の保育準備を手伝わせてもらう（意味や導入の意図について教えてもらう）

◎良い質問ができると「ムム、この子できる！」＝積極的という印象を与えます。

積極性が認められれば、次のステップにもスムーズに移行できます。

↓

◎実習も前半を過ぎたら、知りたいこと、試してみたいことを相談して、アドバイスをもらう。

◎振られる部分実習を予測して準備しておく。

「ちょっと時間があいたので絵本を読んで下さい」

紙芝居・手遊び・歌あそび・朝の会の進行などです。

「あした、歌の伴奏をしてみてください」なんてのもあります。

急に振られて慌てるより、実習前、遅くとも初日から準備をしておきます。

「できません」は極力避けて「やってみます！」と言います。

上手いかななくてもドンマイで済ませられるのが実習生の特権です。

■5-3：指導案の立て方

○本来、指導案は、園の教育方針、年齢、時期、年間&月間のカリキュラム、クラス集団の個性、保育者の力量を考慮して立てなければなりません。乱暴な言い方かもしれませんが、経験を積み綿密にやらなくてもだいたい見当がつかますが、実習生が短い実習期間にそれをこなすのは非常に困難です。

困難なことが徐々にわかるようになるための練習ですから、

100点をとる必要はありません。

「気づかなかったこと」に気づかせてもらう、気づくことがポイントです！

○ある程度やりたいものが決まっていたら早めに相談するのが良いでしょう。

ポイントは、この時期にどんな活動をクラス担任がやってもらいたいのか、探りを入れることです。たとえば、2学期で発表会の練習が詰め詰めだったとすると、「製作などの集中力を要する静的な活動は避けてほしい、子どもたちが息抜きできるような楽しい活動を持ってきてくれるとありがたい」と思っていることでしょう。

○担当と信頼関係ができていれば、こういう内容を話し合うことも可能でしょうが、「自分でやってきて」と突き放されるかもしれません。「活動メニュー」は実習生が考えてくるのが基本ですから。

○考えの基本は『あそびを通して発達を促す』ということのを忘れないようにして、『あそび』を考える、あるいは『あそびにつながる活動』を考えることです。

実習生ができる即興的な活動を難易度の軽い順にあげてみます。

①運動ゲーム的なあそび ②科学実験あそび

③絵画製作（あそぶものを製作+それであそぶ・グループ製作など）

④音楽的活動（歌あそび・ダンスあそび・新しい歌を教えるなど）

※自分の得意分野で活動メニューをおおざっぱに立案しておくとおもしろいでしょう。

※NHKの教育番組は新しいネタの宝庫です。それに教員は観る時間がないのでそのまま使うこともできるので便利です。

※音楽系保育ネタ&技術のサイト「HOICK」：<http://hoick.jp/>

○責任実習が成功する秘訣！

責任実習で実習生が苦勞するのが「予想外の子どもの行動」で慌てて戸惑い、予定していた活動がうまくいかなくなるケースです。経験を積んだ保育者なら、臨機応変に難なく対応できるばかりでなく、それを上手く利用して予定以上の活動に展開することもあります。実習生に臨機応変はハードルが高い。

○指導案を書くときには、この弱点をカバーしておくといいです。

担当に「こうすると、子どもたちはどう動くでしょうか？」と子どもの動きを予測してもらい、確認しておくことです。

○先ほども言いましたが、これは経験がものを言うので、未経験者がいくら考えても正解が出てくる確率は高くない。なので、ここは割り切って、クラスの子どものことをいちばんよく知っている人に教えてもらおう！（聞かないとたぶん教えてくれません。だってイレギュラーはごく日常的にあることですから）

もし、自分で考えなさいと言われてたら、

「子どもは思い立ったらすぐ行動する生き物」であることと

「説明はあまり聞かない生き物」であることを考慮しておくといいいでしょう。

さて、指導案が出来上がったら

導入を数日前から丁寧に行い、子どもたちの興味を活動に向けておくこと、クラスの子どもの名前と、できれば性格をしっかり覚えておくこと。

当日は、

☆子どもの中で誰が活動をいち早く理解して皆をリードしてくれるか把握して（聞いて）おき、こちらの意図する活躍をしてもらうこと。

☆表情豊かに、子どもにわかることばで、

ゆっくりと子ども一人一人の顔を見ながら、表情豊かに楽しそうに、

楽しい活動が始まることを、直接的な言葉でシンプルに話すことです。

（話が終わりかけたときに、やる気が最高潮になっているとベストです。）

一世一代の名演技をするつもりで！！

もし、活動が上手くいかなくても、それができていれば

子どもたちはあなたのことを大好きになるでしょう。

■5-4：就職を視野に入れる

最近実習が就職と直結しているケースが多いです。

しかし、先に述べたように幼稚園は千差万別、いろんなタイプがあり、仕事内容も勤務態勢も人間関係も違ってきます。それを総合して園風といいます。「雰囲気」と言い換えてもいいでしょう。

就職まで、できるだけいろんな園を見るべきです。

いまは売り手市場！実習で声をかけてもらっても焦ったり、気遣いで拙速に決めないことです。

学生が“いい園”を選んで就職してくれれば、採用に苦勞する園は軌道修正を迫られる。結果子どもたちが幸せになる・・・と僕は思ってます。

実習は、幼稚園の雰囲気をつかむ絶好の機会ですから、教職員同士の雰囲気と子どもへの関わり方をよく見て下さい。「厳しい、優しい、冷たい、暖かい、固い、柔軟、綺麗、雑然、ワクワク、ドンヨリ…」その日に感じたイメージを記録するのも良いでしょう。（実習日誌には書かないように！）あなたの感覚で感じたことをそのままつかみます。

実習を経験した幼稚園があなたの標準となります。標準となった幼稚園のことがよくわかっていれば、他の園を見学したときにもその違いを比較することで、短期間でだいたいの雰囲気をつかめます。なので、あとは見学をして気に入った園で一日～二日の自主実習をさせてもらえば自分の働きたい園が絞られてくるでしょう。

そうやって自分の性格やポリシーに合う園を探しましょう。

一つ忠告しておきます、教員・保育士派遣会社への登録はお勧めできません、なぜなら保育者としての充実感や喜びを感じられない場合が多いからです。実際に園で仕事を始めても、子どもや保護者と気持ちを通い合わせられずに、保育者としての仕事の喜びを得られず、離職率が高いという傾向があるからです。

人を育てる仕事は、時間と労力の対価として報酬を受け取るというタイプの仕事とは、一線を画して考えるべきだと思います。

私たち経営者は、それに見合った待遇を整えるべく努力をしなければなりません。いまのところ、そこが保育業界の大きく切実な課題でもあります。

最後に…ぜひ！実習で多くのことを学び、子どもたちの憧れとなる保育者になって下さい！あなたが来てくれるのを現場は待っています！



ツルヤシュイチ

(幼稚園勤務32年/うち園長11年)

<http://www.haramachi-ki.jp>

mail : osakana@haramachi-ki.jp